

4 レタス減肥栽培の収量と土壤養分

ねらいと成果

肥料等の多量施用による環境への影響が懸念される中、淡路の三毛作体系（水稲－レタス－レタス）の3作目レタス栽培において減肥栽培を行い、慣行の3割減肥（窒素24kg/10a）が生育・収量とも良好で、土壤養分含量も低く推移して環境負荷が低減できることが明らかになった。

内容

水稲－レタス－レタス体系の3作目レタスのトンネル・マルチ栽培（播種：10月14日、定植：11月26日）において、慣行施肥量に対して、レタスの収量比（球重）は、3割減肥が112%と良好で球揃いも

良く、3月13日に一斉収穫出来、M球以上の比率も93%と慣行区や3割増肥区より高かった。このことから、レタスの施肥量は3割減肥で十分で、跡地の土壤養分からも環境への負荷が低減できるものと考えられた。

堆肥連用ほ場でも同様の傾向が認められ、さらなる減肥が可能と考えられた。

今後の方針

減肥や肥効調節型肥料によるレタスのマルチ2連続栽培等異なる作型での検討を行う。

青山 喜典（中央農技・環境部）

表 レタスの生育・収量と収穫跡作土の土壤養分

試験区名	施肥量 (kg/10a) 窒素：リン酸：カリ	レタスの生育・収量				土壤養分 (mg/100g)			
		全重 g	球重 g	収量比 %	M球以上 %	硝酸態 窒素	可給態 リン酸	交換性 カリ	
無肥料	0 : 0 : 0	488	316	77	20	0.4	47.2	14.9	
3割減肥	23.8 : 18.8 : 19.9	716	460	112	93	21.8	60.0	30.3	
慣行施肥*	34.0 : 26.8 : 28.4	649	411	100	80	29.4	67.6	38.0	
3割増肥	44.2 : 34.8 : 36.9	642	418	102	73	37.4	79.7	58.9	

慣行施肥*：園芸有機（10-10-7）130kg/10a、燐硝安加里S604（16-10-14）130kg/10a